

# 個人中心アプローチの国際的発展

1982年以来、世界中で個人中心アプローチに関する国際フォーラムが開催され、心理療法の分野で重要な役割を果たしてきました。

[国際フォーラムに参加する](#)

[詳細を見る](#)

# 国際フォーラムの歴史

These Peresesst on colltrentof by  
carags pracees-centrentand approachs

Butotaying a presciral application th a cntiviv, of the rodire any field of anching the wwn  
persseentter-centreed approachh, antisduidg with-frew the person-cented approach.



- 1 1982年**  
個人中心アプローチに関する国際フォーラムが始まります。
- 2 1986年**  
カール・ロジャースが個人中心アプローチ開発協会（ADPCA）の設立総会に出席します。
- 3 1987年**  
ジョージア州ウォームスプリングスで最初のワークショップが開催されます。
- 4 2000年**  
ポルトガルで個人中心体験型心理療法およびカウンセリング世界協会（WAPCEPC）が設立されます。

# ウォームスプリングスワークショップ

## ▼ ウォームスプリングスワークショップの概要

1987年2月11日から15日まで、ジョージア州ウォームスプリングスのリハビリテーション研究所で開催されました。40人の参加者が集まり、非指示的な雰囲気の中でワークショップが行われました。

## ▼ ワークショップの継続

1987年以来、ウォームスプリングスワークショップは毎年開催されており、非指示的な雰囲気は長年にわたって維持されています。

## ▼ ADPCAの活動

ADPCAは毎年会合を開催しており、ウェブサイト [www.adpca.org](http://www.adpca.org) からオンラインでアクセスできます。

# 個人中心アプローチの出版物

1986年

「パーソン・センタード・レビュー」がデビッド・ケインによって創刊されます。

1

2001年

WAPCEPCが「パーソン中心および経験的心理療法」(PCEP) ジャーナルを創刊します。

3

2

1992年

「パーソン・センタード・ジャーナル」がジェロルド・ボザースとフレッド・ジムリングによって共同編集されます。

# 個人中心アプローチの進化

1

1940年代

個人療法の概念が誕生します。

2

1980年代

国際フォーラムが始まり、アプローチが広がります。

3

1990年代

コミュニティの概念へと発展します。

4

2000年代

世界的な組織が設立され、アプローチがさらに進化します。



# WAPCEPCの設立と活動

## 設立

2000年にポルトガルで設立されました。

## 構成

多くの国の心理療法士、研究者、理論家で構成されています。

## 目的

人間中心のアプローチの革命的な性質を再確認することを目指しています。

# 個人中心アプローチの現状

## 1 国際的な広がり

世界中で個人中心アプローチに関する会議やワークショップが開催されています。

## 2 学術的発展

査読付きジャーナルやオンラインリソースを通じて、研究と理論が発展しています。

## 3 多様な分野への応用

教育、看護、ビジネスコンサルティングなど、様々な分野で個人中心アプローチが活用されています。



# 個人中心アプローチの未来



## 教育の革新

個人中心アプローチが教育現場でさらに広く採用され、学習者中心の環境が創出されます。



## ビジネスへの応用

企業文化や人材開発において、個人中心アプローチがより重要な役割を果たすようになります。



## 国際的な研究協力

世界中の研究者がオンラインプラットフォームを通じて協力し、個人中心アプローチの理論と実践をさらに発展させます。